



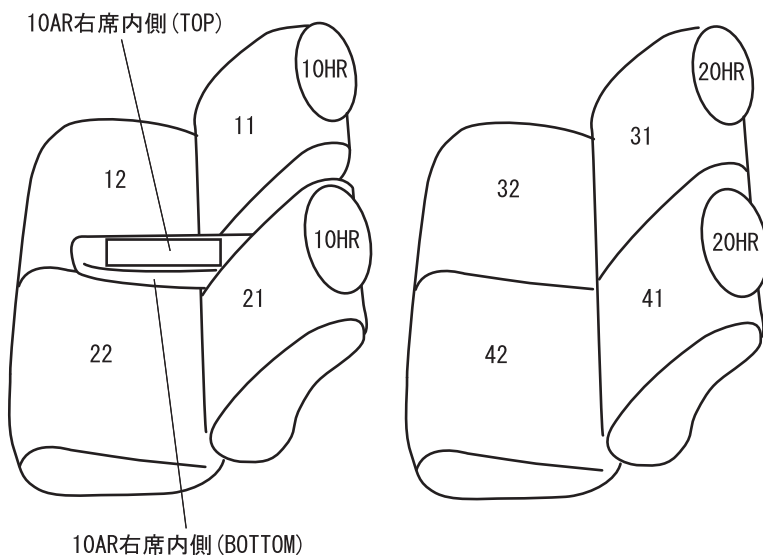
スズキ	パレット
	パレットSW
ニッサン	ルークス
マツダ	フレアワゴン

専用シートカバー取付説明書

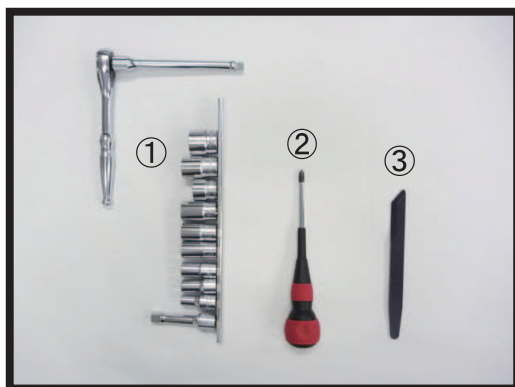
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取り付け必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② プラスドライバー
- ③ ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。





- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



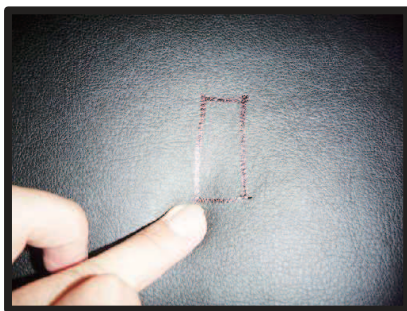
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。カバーを加工すれば使用することが可能です。**※穴開け加工は自己責任でお願いします。**



①フックを出した状態でヘラなどを使用して中にあるツメを起こします。



④カバーを装着後、コンビニフックの穴位置を確認して、穴のフチに沿って印を付けます。



②①の作業を分かりやすくした図です。



⑤付けた印部分を図のように切り抜きます。生地を切り抜く際に、シートを傷付けないようにご注意ください。



③ツメを起こしながらフックを手前に引くとシートからコンビニフックが外れます。



⑥穴開け加工した部分にコンビニフックを押し込み元に戻します。最後にフックを軽く引っ張り、確実に固定されているか確認して下さい。

1 列目座面



- ①最初にシートリフターのレバーを取り外します。
(フタを外して、ネジ2本を
プラスドライバーで外します。)



- ④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- ②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



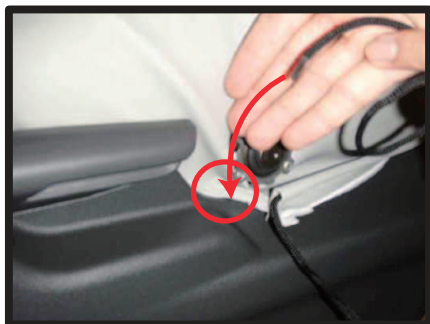
- ⑤シートベルトの穴とカバーの穴位置を合わせて、生地を中に入れ込みます。



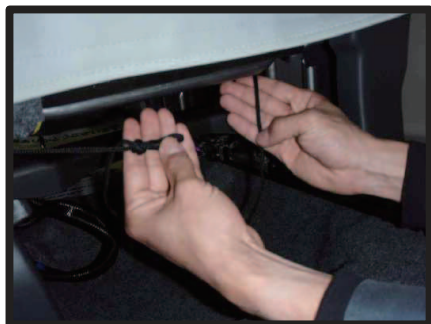
- ③ラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



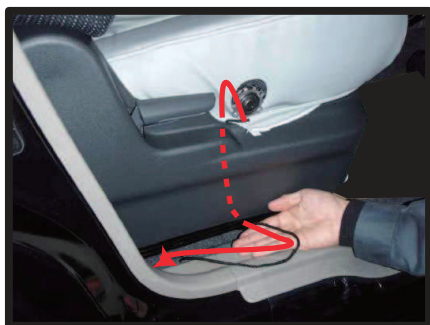
- ⑥側面にあるカバーの穴から、シートリフター取り付け部分を抜き出します。



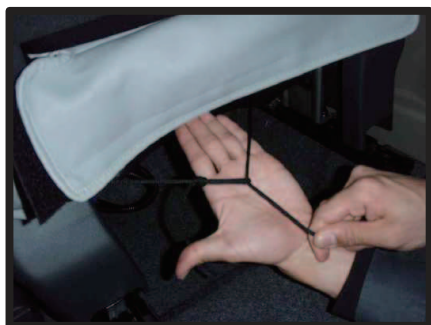
⑦カバー側面のヒモを、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。
(シートリフター取り付け部分のすぐ後の辺りから入れ込みます。)



⑩左右のヒモを座面裏で結びます。
片側のヒモで輪を作ります。



⑧ヒモは、プラスチックカバーの中を通して、下に引き出してから、背面に持っていきます。



⑪作った輪の中にもう片方のヒモを通して結びます。
(結ぶ前に適度な力でヒモを引き絞ります。)
※引っ張り過ぎにご注意下さい。



⑨カバーをプラスチックカバーの中に入れ込みます。

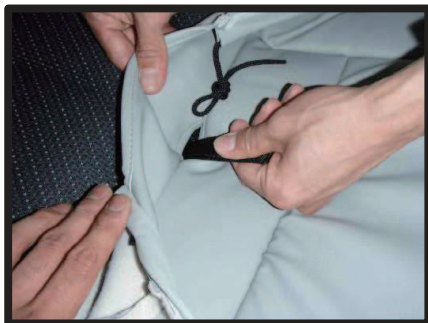


⑫ページ1の④で入れ込んだカバーを背面から引き出して、マジックテープで固定します。

1 列目座面の続き



⑬窓側のマジックテープの固定は、プラスチックカバーを少し浮かせた状態でシートに取り付けます。



⑭助手席側の座面は、シートを持ち上げた状態で作業を行います。カバーをかぶせる前にストラップをカバーの穴から抜き出します。



⑮内側はマジックテープどうしを固定します。



⑰シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑮表面を整えて、運転席側の座面取り付けは完成です。



⑯運転席と同じ要領で、ヒモを結びます。

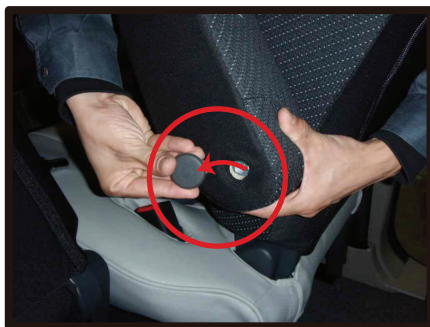
1 列目背もたれ

⚠ 注意 ⚠

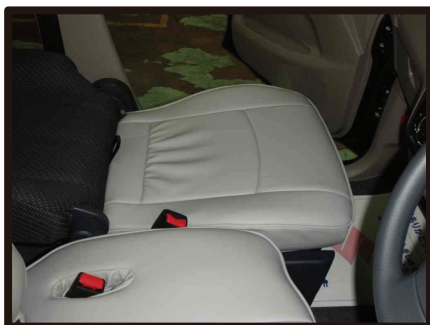
サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



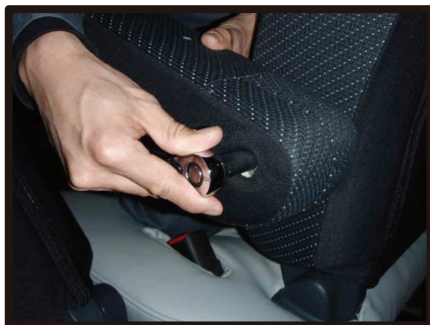
⑱結んだヒモは、カバーの中に入れて込んで下さい。



①最初にアームレストを外します。
プラスチックカバーを外します。



⑳表面を整えて、助手席側の完成です。

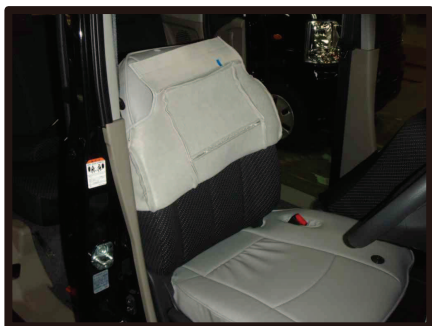


②ソケットレンチを使用してボルトを外します。



③アームレストを外した状態です。

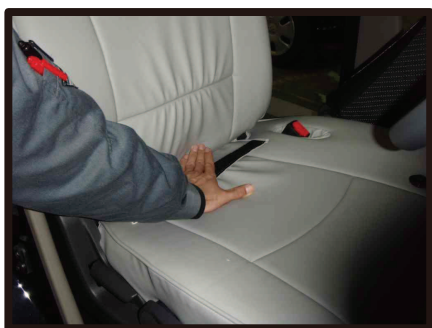
1 列目背もたれ続き



④ヘッドレストを外します。背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



⑤ヘッドレストの台座部分を取り出します。生地の伸びを利用して横からカバーをもぐり込ませるようにして台座部分を取り出します。



⑥折り返していた半分の左右均等に下まで引き下げ、背もたれと座面の隙間にカバーを入れ込みます。



⑦矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



⑧ページ5の⑥で入れ込んだ部分と、背面生地をマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑨サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。

表面を整えて、背もたれの完成です。
(助手席も同じ手順です。)

2列目座面



①シートラインに合わせて、カバーをかぶせます。



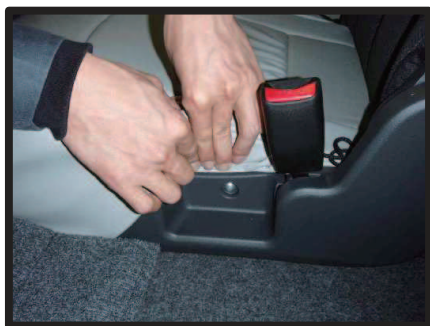
④カバー後ろ側に付いているヒモは、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



②背もたれと座面の隙間にカバーを入れ込みます。



⑤背面からヒモを抜き出します。

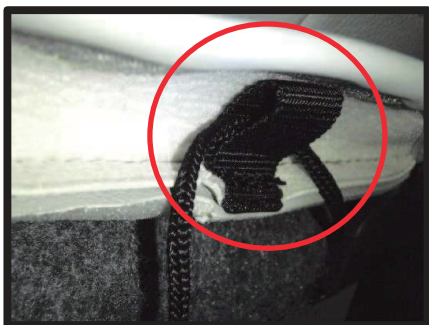


③側面部分のカバーは、プラスチックカバーとシート本体の間に、生地を入れ込みます。



⑥シートを、写真のような状態にしておきます。

2列目座面の続き



⑦引き出したヒモをカバー後ろ側に付いているヒモ通しに入れます。



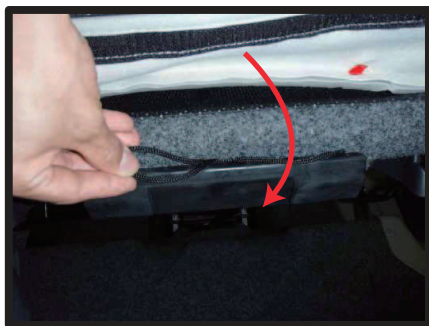
⑩マジックテープを固定する際、図のチャイルドシートのアンカー部分まで生地がかぶらないようにして下さい。



⑧左右のヒモを1列目座面と同じ要領で結びます。

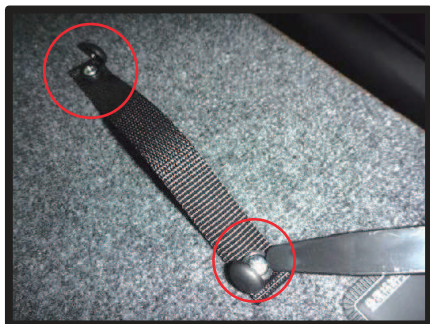


⑪表面を整えて、2列目座面の完成です。
(助手席側も同じ手順です。)



⑨ヒモを覆い隠すように、マジックテープを固定します。

2列目背もたれ



①背もたれ背面にあるベルトを取り外します。
ネジが隠れていますので、ヘラ等を隙間に差し込んでネジのキャップを開き、ネジを外します。



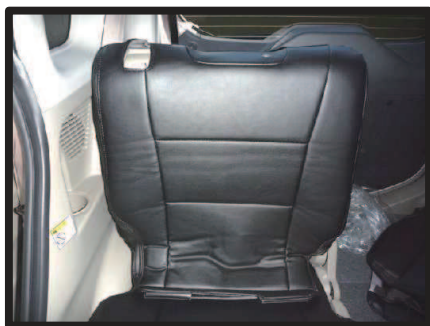
②ベルトを取り外した状態です。



④大きなプラスチックフックが付いた部分を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。フックでカバーに傷を付けないようにご注意ください。



⑤入れ込んだ部分を背もたれ背面から引き出します。



③1列目の背もたれと同じ要領で、カバーをかぶせていきます。



⑥背もたれ背面下で、シート表皮を固定している部分を外します。シートはプラスチックフックで固定されています。図の矢印方向に生地をめくるとフックの固定が外れます。

2列目背もたれ続き



⑦シート表皮の固定を外した図です。生地をめくり上げると、背もたれ内部のフレームが見える状態になります。



⑩背もたれ裏は図のようになります。



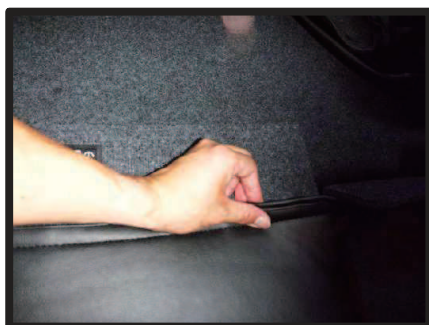
⑧ページ8の⑤で引き出した部分に付いているプラスチックフックと、シート表皮を固定していたプラスチックフックを固定します。図は断面図です。カバーに付いている大きなフックに、シート表皮に付いているフックを先端からはめ込みます。



⑪背もたれ裏にあるストラップをカバーの穴から抜き出します。



⑨フックを全てはめ込むと図のようになります。



⑫背もたれ背面下のマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



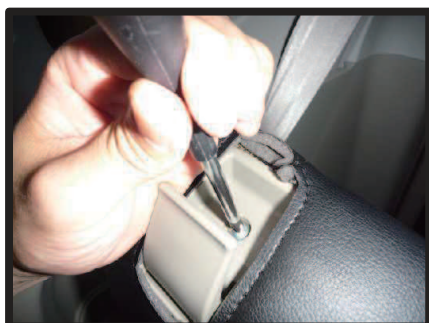
⑬ページ⑧の①で取り外したベルトを取り付ける為に、カバーに穴を開けます。
まずは、穴位置をよく確認します。



⑭先端の尖ったものを使用して、穴を開けます。



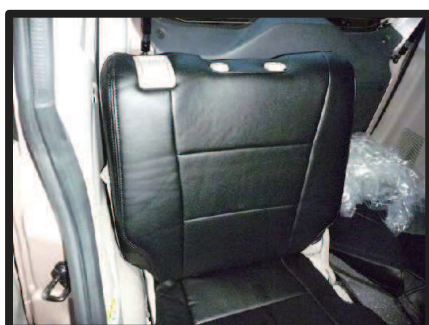
⑮ベルトを元に戻した状態です。



⑯肩口のレバー部分は、ネジを緩めてレバーをシートから外します。



⑰カバーをレバーとシートの間に入れ込み、外したネジを元に戻すと図のように仕上がります。

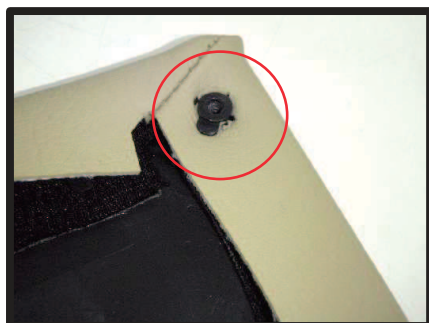


⑯表面を整えて、2列目背もたれの完成です。
(助手席側も同じ手順です。)

アームレスト



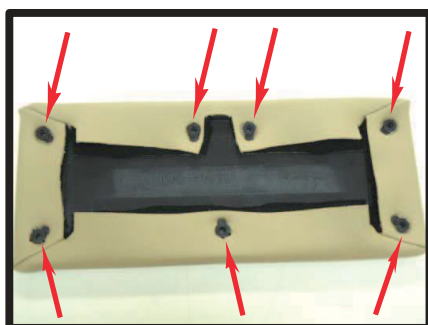
- ①ボックスをアームレストから外します。
フタの中にあるネジを外し、ボックスを取り外します。
フタ部分もネジを外します。



- ④印を付けた部分の生地に切れ込みを入れ、ネジ穴部分を生地から抜き出します。アームレストに傷を付けないように、切れ込みを入れる際は、カバーを外して作業を行なって下さい。



- ②フタにカバーをかぶせます。
切り込み部分をフタの生地に合わせます。



- ⑤ネジ穴を生地から取り出した状態です。



- ③ネジ穴に合わせて生地に印を付けます。



- ⑥ボックスにフタを取り付けます。



- ⑦アームレスト本体にカバーをかぶせます。
カバーを半分ほど折り返し、アームレスト本体にカバーをかぶせます。
前側からラインに合わせて、しっかりかぶせます。



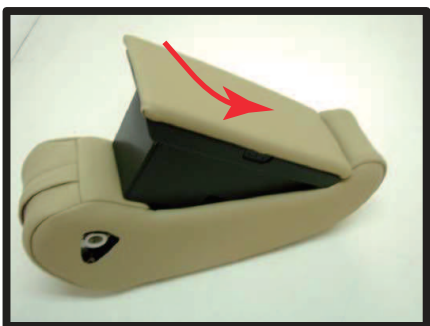
- ⑩ボックスの中にあるネジを固定します。
アームレストを車体に戻して完成です。



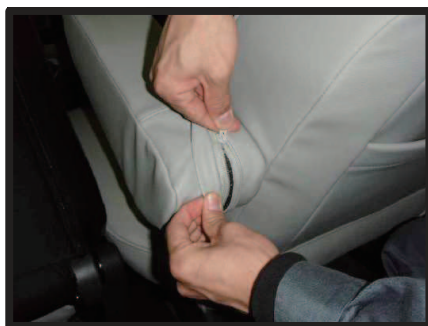
- ⑧ボックスが入っていた穴に生地を入れ込みます。



- ⑪ソケットレンチを使用して、元の位置に取り付けます。



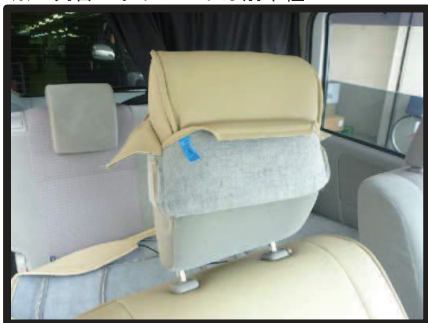
- ⑨ボックスをアームレストに戻します。
ボックスの前部分からアームレスト本体に入れ込みます。
ボックス内部のネジで固定します。 — 12 —



- ⑫プラスチックカバーを取り付けて、ファスナーを閉じます。
表面を整えて、アームレストの完成です。

ヘッドレスト

※1列目ヘッドレストは別車種



①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチックの部品が付いているほうが前です。



④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



②ヘッドレスト本体を押しつぶしながらカバーに入れ込んでいきます。縫い目の部分に力がかかりすぎるとカバーが破れる恐れがありますので、作業は慎重に行ってください。



⑤プラスチック部分を最後まで入れ込むと図のようになります。

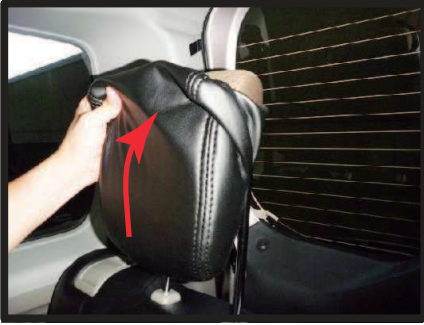


③平らなプラスチックの付いた部分を内側へ巻き込むように折り返して、カギ状のプラスチックの溝に押し込んでいきます。



⑥表面を整えて、1列目ヘッドレストの完成です

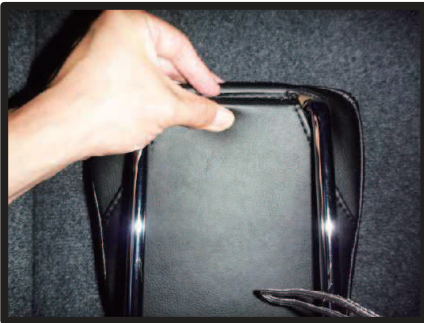
完成図



⑦2列目ヘッドレストは図のように下から上へかぶせます。



1列目



⑧ヘッドレスト裏で1列目同様にプラスチック部品を固定します。



2列目



⑨表面を整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



2列目背面

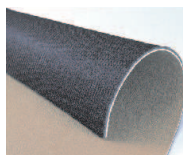


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

